

課題名：レンコンの生産性向上

ねらい

徳島県で栽培されているレンコンの主要品種である「備中」種は、品質（色・肥大性など）が良く市場評価の高いレンコンです。反面、土壌病害「腐敗病」の発生による反収低下や、晩生種のため肥大期の台風被害による収量・品質の低下などが問題となっています。

そこで、土壌病害「腐敗病」対策としての太陽熱消毒の普及による被害の軽減や、早生系新品種の開発、新たな施肥体系の改善を目指します。

活動地域・対象

地域：鳴門市，松茂町，北島町，藍住町，板野町，徳島市
対象：レンコン栽培農家

普及活動の目標

- 1 太陽熱消毒の普及による土壌病虫害の軽減
- 2 レンコン新品種の育成
- 3 施肥体系の改善

目標に向けた活動概要

- 1 レンコン田で太陽熱消毒技術を普及するため、作業の省力化について検討しました。
- 2 レンコンの新品種を育成するため、生産者のほ場において現地選抜試験を行いました。
- 3 カリ施用量が生育や収量に及ぼす影響やカリ肥料の流し込み施肥について検討しました。



太陽熱消毒省力化試験



フィルム除去作業の省力化



レンコン新品種現地選抜試験



カリ施肥量試験



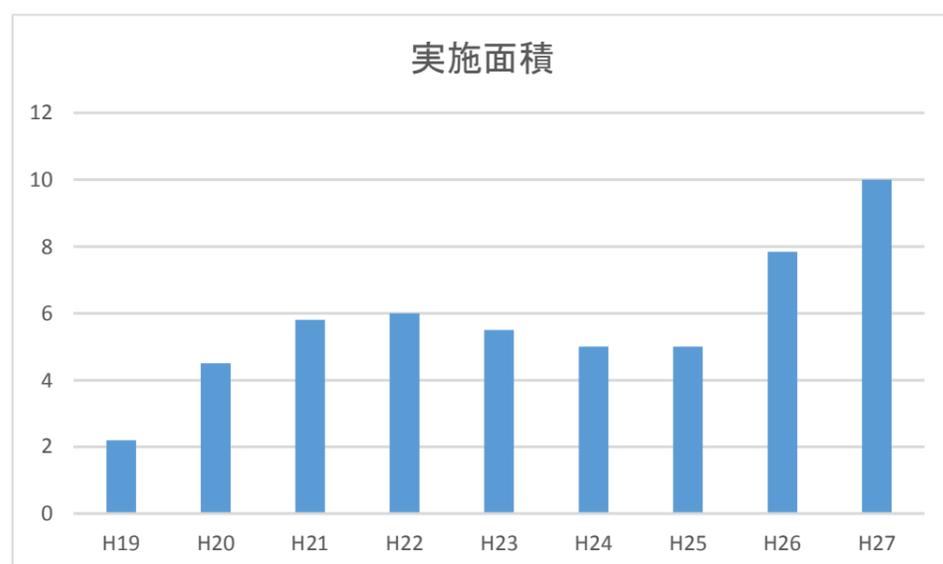
カリ肥料の流し込み



カリ肥料の流し込み

普及活動の成果

- 1 太陽熱土壤消毒：太陽熱消毒を推進し、平成27年度は約10ha実施されました。
- 2 レンコン新品種：9/4に早晩性について評価。3月下旬からは現地栽培を行います。
- 3 施肥体系の改善：流し込み施肥については、レンコンが繁茂し人が入れない状況でも追肥が可能でした。



太陽熱土壤消毒の実施面積



従来品種（備中）



新品種（阿波白秀）：9月上旬

用語説明

レンコン腐敗病：レンコンの地下茎が褐変、腐敗する病気で、被害の大きいほ場では収穫ができなくなることもある。

レンコン田用太陽熱消毒：7～8月の盛夏期にレンコンのほ場全面を透明フィルムで覆い、土壤消毒を行う。

流し込み施肥：液体肥料または個体の肥料を灌漑水と一緒に流し込む追肥法。

今後の発展方向

- 1 太陽熱土壤消毒 フィルムの被覆作業及び除去作業の省力化について検討を行います。
- 2 レンコン新品種 品種登録の出願がなされたので、現地で種苗生産の体系を整備します。
- 3 施肥体系の改善 次年度も流し込み施肥等について検討します。

関係者からの声

○レンコンの新品種を早く出してほしい。（生産者）

○太陽熱消毒は透明フィルムの被覆作業だけでなく、除去する作業にも労力がかかる。（生産者）

○流し込み施肥なら労力がかからないので取り組んでみたい。（生産者）

高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660

tel：088-674-1922